

科 目 名	医療機能薬学特論Ⅱ				
担 当 教 員 名	教 授 加藤 宏一 講 師 加藤 文子	単位数	2 (90 分授業 15 回)	配当学期	春学期
講 義 の 概 要	本講義では疾患と薬物治療の知識をベースに、最新の病態学的メカニズムや薬物の作用機序、薬物療法の知識、薬学的アプローチによる薬物療法支援を学習する。糖尿病に関する病態、最新の糖尿病治療薬の作用機序や臨床効果、経口血糖降下薬のポジショニングや食事療法の現状など糖尿病に関する最新情報、糖尿病性神経障害成因の分子機構やその治療戦略、小児、妊婦、授乳婦における薬物治療や小児における抗体製剤、遺伝子組み換え製剤や生物学製剤の薬物療法に関して習得する。				
準 備 学 習 (予習・復習など)	受講前にシラバスに記載されている授業内容に関連する教科書の該当箇所を予習すること。講義内容、教科書、配付プリントをまとめ、復習すること。各回の講義前に、およそ 120 分を目安として予習・復習をすること。				
講 義 の 内 容 ・ スケジュール	1. 糖尿病およびメタボリックシンドローム 2. 経口血糖降下薬のポジショニング 3. 糖尿病および糖尿病合併症の成因と治療 4. 糖尿病治療薬の心血管イベントに対する大規模臨床試験 5. 糖尿病食事療法の心血管イベントと生存率への効果 6. 糖尿病性神経障害成因の分子機構 7. 糖尿病性神経障害に対する治療戦略 8. 低血糖と血糖変動 9. 糖尿病と血糖自己測定 10. 糖尿病治療薬の注入デバイスと糖尿病療養指導 11. 発達薬理学 12. 妊産婦・胎児とくすり 13. 授乳婦とくすり 14. 抗体製剤と遺伝子組み換え製剤 15. 小児に特徴的な処方・治療薬（生物学製剤を中心に）				
評 価 方 法 (基 準 等)	レポートまたは口頭試問、討議により教員毎に 100 点満点で成績を付け、最終責任者が 100 点満点として評価				
教 材	教科書：糖尿病性神経障害 基礎から臨床のすべて（中山書店） 参考書：病気がみえる（メディックメディア）				